



決算説明会

2023年12月期



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

岡部グループの事業領域（2023年12月期連結）

多角化事業

リフトテーブル等の製造・販売や、
魚礁の製造・販売。

自動車関連製品事業

バッテリー端子の製造販売・
トラック等向けボルト・ナットの
販売。



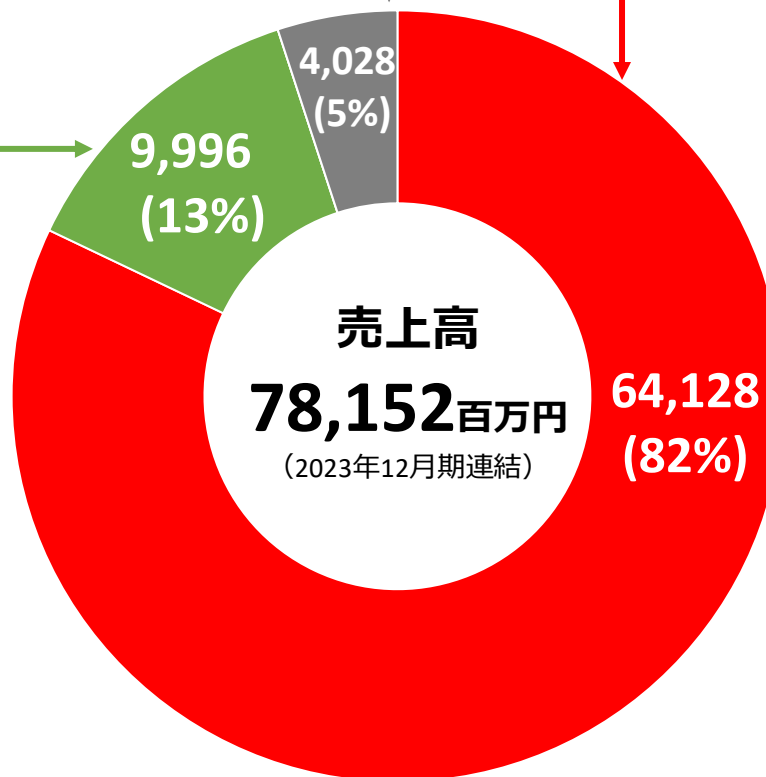
建設関連製品事業

<国内>

- 仮設・型枠製品
- 土木製品
- 構造機材製品
- 建材商品

<海外>

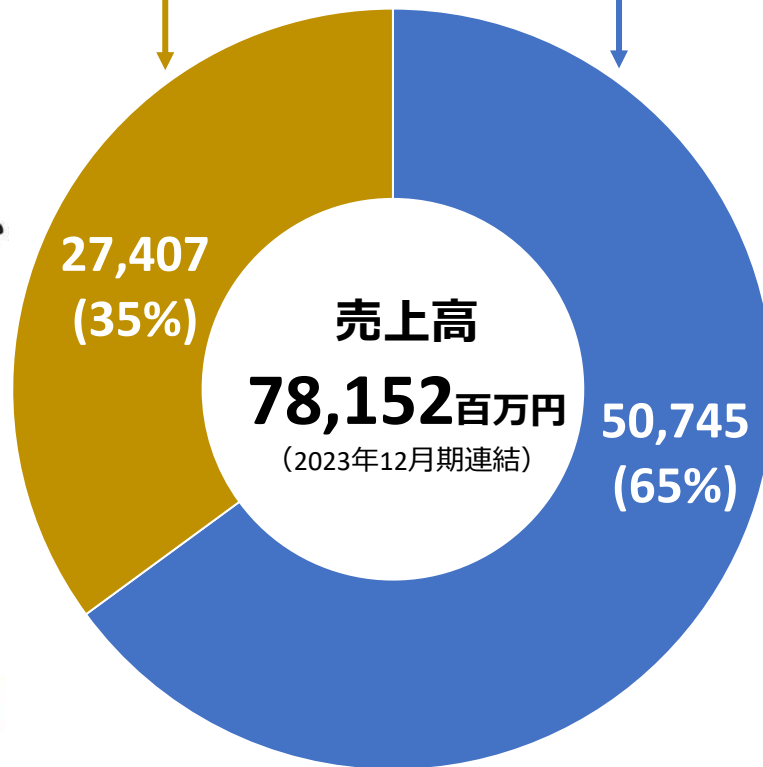
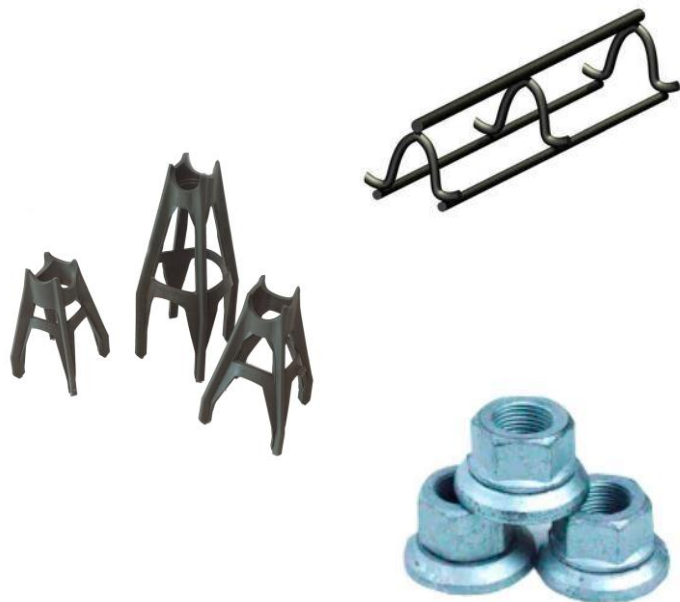
- 建材製商品



国内・海外売上比率（2023年12月期連結）

海外事業

- 建材製商品販売
- 自動車関連製品事業



国内事業

- 建設関連製品事業等

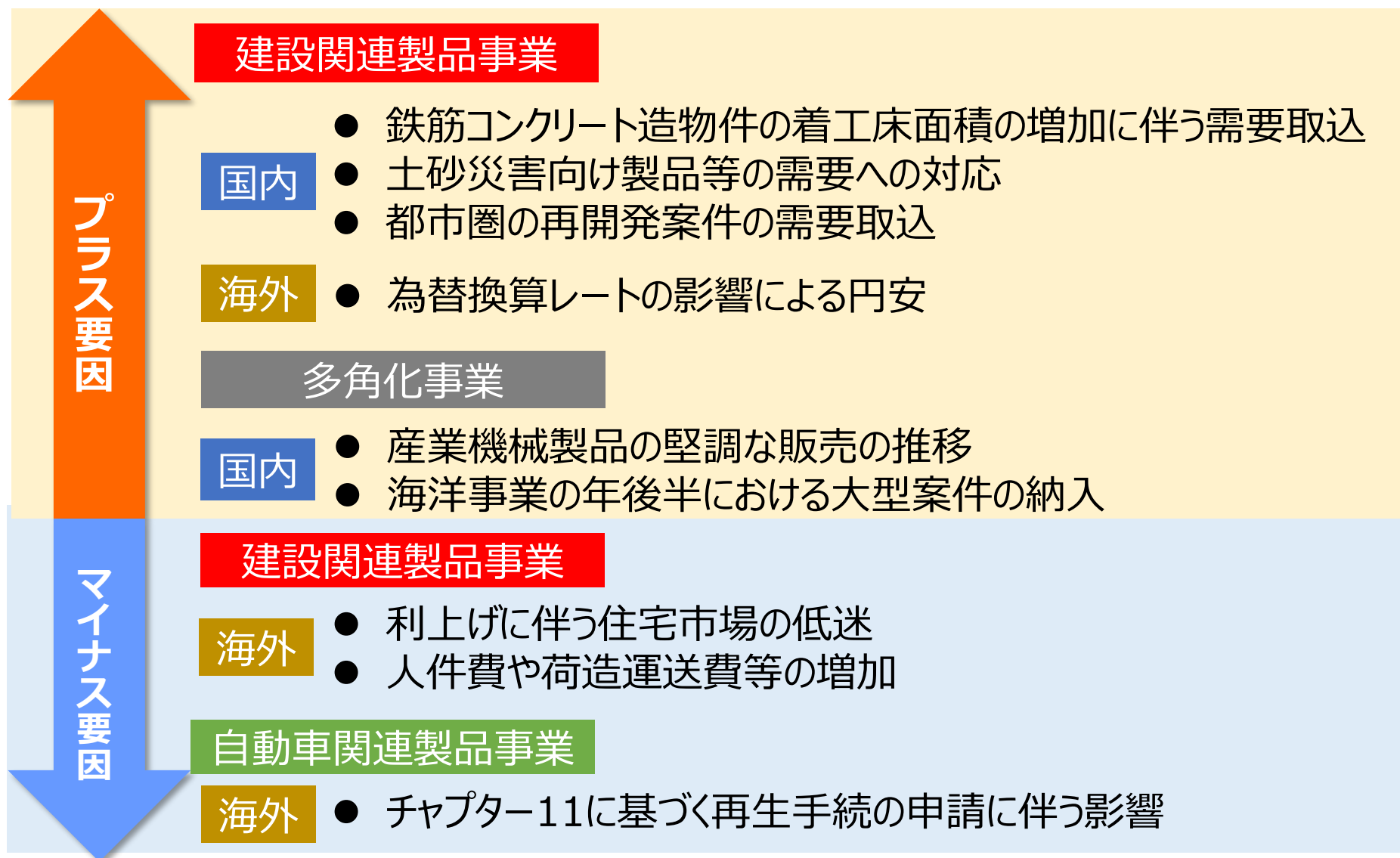


I. 2023年12月期 通期連結業績概要

II. Topics 「新・中期経営計画「OX－2026」について」

I . 2023年12月期 通期連結業績概要

2023年度サマリー



セグメント別・製品別売上高【前期比】

(単位：百万円)		2022 通期実績	2023 通期実績	増減額	増減率
建設関連製品事業	仮設・型枠製品	7,075	7,288	212	3.0%
	土木製品	7,266	7,428	162	2.2%
	構造機材製品	19,949	20,450	501	2.5%
	建材商品	11,945	11,799	△145	△1.2%
	建材製商品(海外)	16,843	17,160	316	1.9%
	当事業計	63,081	64,128	1,046	1.7%
自動車関連製品事業		9,914	9,996	82	0.8%
多角化事業		3,859	4,028	168	4.4%
合計		76,854	78,152	1,298	1.7%

セグメント別営業利益【前期比】

(単位：百万円)	2022 通期実績	2023 通期実績	増減額	増減率
建設関連製品事業	5,098	4,066	△1,031	△20.2%
自動車関連製品事業	△144	△300	△155	—
多角化事業	317	316	△1	△0.4%
合 計	5,271	4,082	△1,188	△22.5%

連結業績概況【前期比】

(単位：百万円)	2022 通期実績	2023 通期実績	増減額	増減率
売上高	76,854	78,152	1,298	1.7%
営業利益	5,271	4,082	△1,188	△22.5%
(営業利益率)	6.9%	5.2%	—	—
経常利益	5,471	4,303	△1,168	△21.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	3,848	△5,472	△9,320	—

連結財政状態 【前期比】

(単位：百万円)		2022 期末	2023 期末	増減額
資	産	103,894	89,885	△14,009
負	債	36,783	27,824	△8,959
(有 利 子 負 債)		13,220	6,918	△6,302
純	資 産	67,111	62,060	△5,050
自 己 資 本 比 率		64.6%	69.0%	+4.4Pt

Ⅱ. Topics

「新・中期経営計画「OX－2026」について」

BUSINESS

建設関連製品
事業

多角化
事業

STRATEGY

人的資本経営の実践
経営基盤の強化

カスタマー・
セントリック

DXの
更なる推進

VISION

これまでも、そしてこれからも

建設を支える耐震建材メーカーとして培った

「創造力」×「つなぐ力」×「人の力」で

世界中の人々の生活に安全・安心を提供する

グローバル・ソリューションプロバイダー

重点的に取組むSDGs

8

働きがいも
経済成長も



9

産業と技術革新の
基盤をつくろう



11

住み続けられる
まちづくりを



12

つくる責任
つかう責任



14

海の豊かさを
守ろう



okabe コーポレートビジョン 2040

経営理念

安全・安心の提供を通じて社会に貢献する

okabe コーポレートビジョン 2040

これまでも、そしてこれからも
建設を支える耐震建材メーカーとして培った「**創造力**」×「**つなぐ力**」×「**人の力**」で
世界中の人々の生活に安全・安心を提供するグローバル・ソリューションプロバイダー

経営戦略

新・中期経営計画 『**OX-2026** (okabe Transformation 2026)』

okabeグループのマテリアリティ

分類	活動テーマ	マテリアリティの内容		貢献する SDGsゴール
	安全・安心で 持続可能な社会づくり	1	地震、豪雨等の災害の甚大化	  
		2	建設事業の環境変化	
		3	人口減、高齢化社会	
		4	人とのつながり・人的資本経営	
	地球環境への配慮と 資源の保全	5	気候変動、地球温暖化	 
		6	環境保全、脱炭素、資源循環の実現	
		7	海洋資源の維持	
	経営の健全性・ 透明性の向上	8	ガバナンスの強化	

前中計の業績(結果)

	2022年度実績	2023年度実績
売上高	76,854 百万円	78,152 百万円
営業利益	5,271 百万円	4,082 百万円
経常利益	5,471 百万円	4,303 百万円
経常利益率	7.1 %	5.5 %
当期純利益	3,848 百万円	-5,472 百万円
ROE	6.0 %	-8.5 %

	2022年度実績	2023年度実績	3カ年の投資計画	進捗率(2年経過時点)
設備投資	8 億円	18 億円	110 億円	26 億円 (24.3 %)
戦略投資(M&A等)	77 億円	2 億円	100 億円	79 億円 (79.1 %)
合計	85 億円	20 億円	210 億円	105 億円 (50.4 %)

外部環境の認識

社会インフラ

- 国内における災害の激甚化、インフラの老朽化に伴う公共投資の増加
- 北米の建設市場をけん引するインフラ・プロジェクトの存在
- ASEANなどのインフラ整備の遅れに伴う需要の高まり
- カーボンニュートラルの実現に向けた設備投資の増加

少子高齢化 DX

- 人口減少、建設労働人口減少、物価上昇の裾野の広がり、少子高齢化の加速
- 工期短縮に貢献する省力化、省人化需要の高まり
- 自動化や無人化など、デジタル化需要の高まりやDXによる建設産業の変化

市場要請

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（PBR1倍超の早期達成）

多様化社会

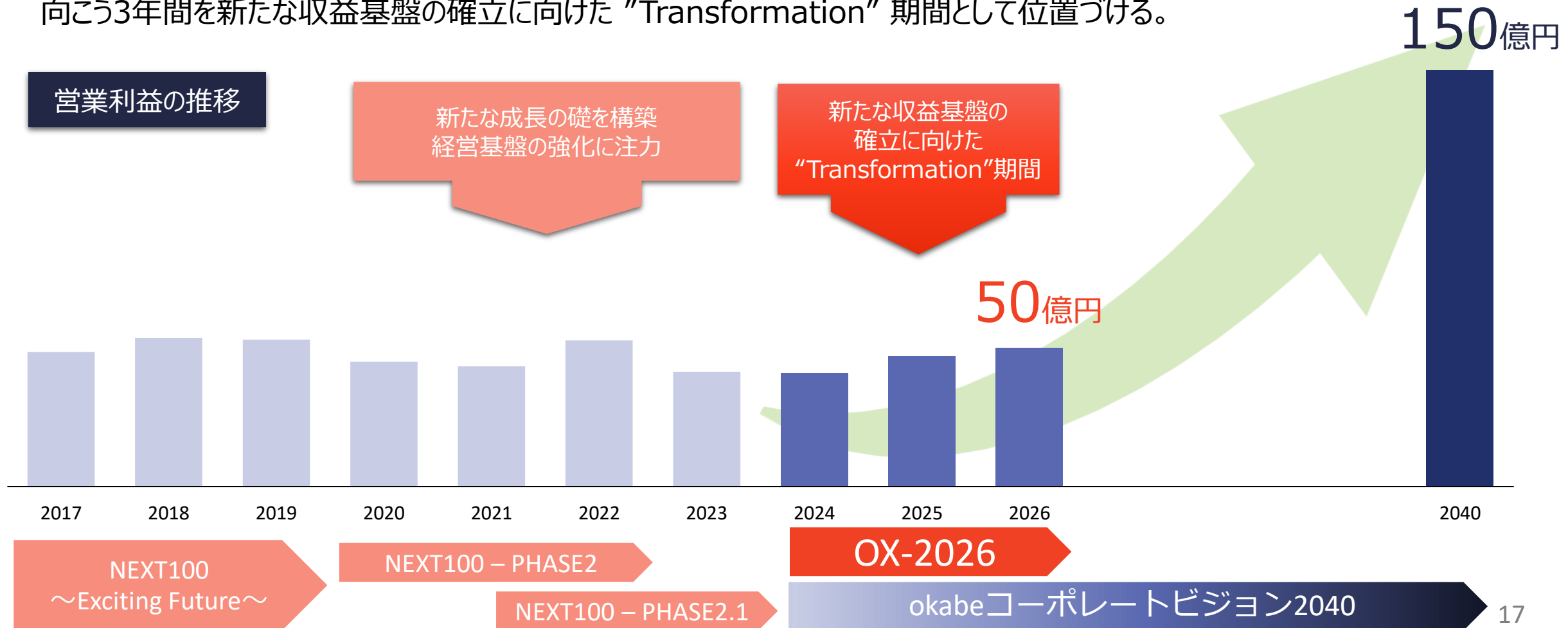
- 働き方・学び方・ライフスタイルの多様化、ダイバーシティ尊重

新・中期経営計画の位置づけ

okabeコーポレートビジョン2040の実現に向けて

企業価値の持続的成長を目指し、外部環境の変化に機敏に対応しながら、利益水準を維持するとともに、向こう3年間で新たな収益基盤の確立に向けた“Transformation”期間として位置づける。

営業利益の推移



事業戦略の骨子

カスタマー・セントリック

(顧客が抱える課題を最優先で解決するための体制整備と取組みの実施)

- ◆ 顧客・社会の課題を解決する製品の開発
- ◆ 新たなニーズを捉えた新製品の開発・新規事業の創出
- ◆ 国内建設に特化した商品企画室の新設
- ◆ 北米・ASEAN市場に適したソリューションの提供による建設事業のグローバル展開加速
- ◆ 海洋事業におけるブルーカーボン事業開始

サステナビリティ経営の推進(進化)

国内外のマテリアリティ(重要課題)にソリューションを提供し、持続的な成長を図るため、事業ポートフォリオの見直しも含めて経営リソースを集中する。

DXの更なる推進

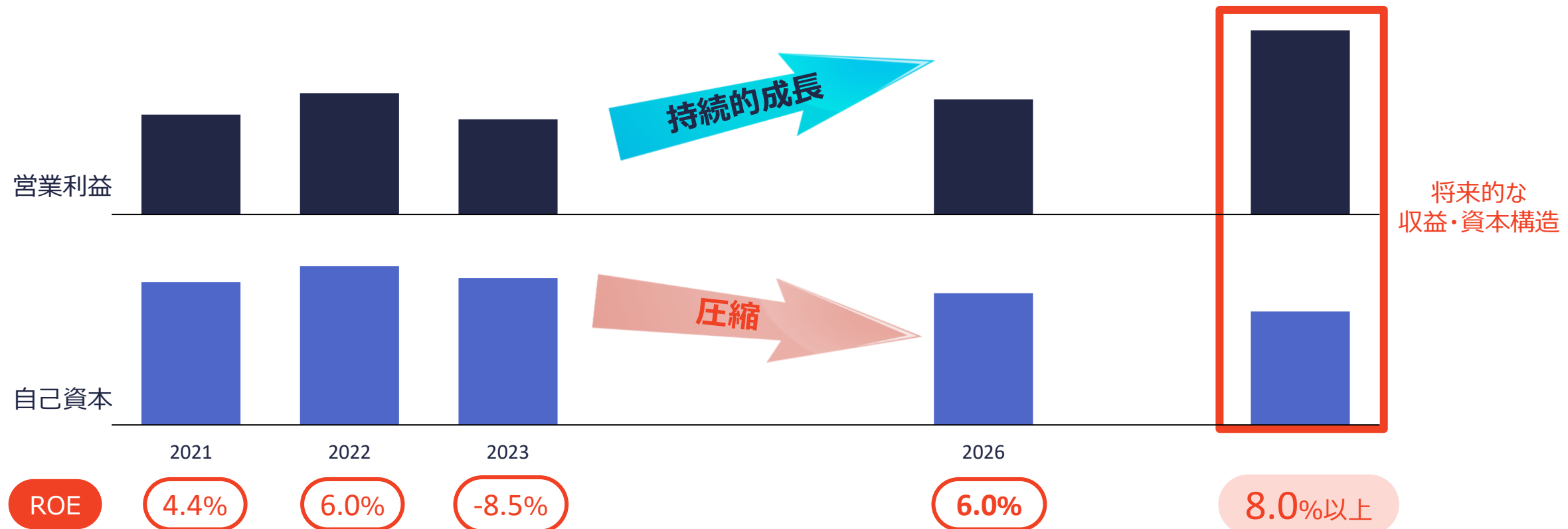
- ◆ 基幹システムの刷新、業務プロセスの改革・変革
- ◆ DXの推進による、他社との差別化・新たな事業機会の創出・売上拡大に繋がる施策の検討・実施
- ◆ IT戦略室の新設

人的資本経営の実践と経営基盤の強化

- ◆ 人的資本を中心とした非財務KPIのチャレンジングな設定及び目標の達成
- ◆ 海外子会社ガバナンスの改善

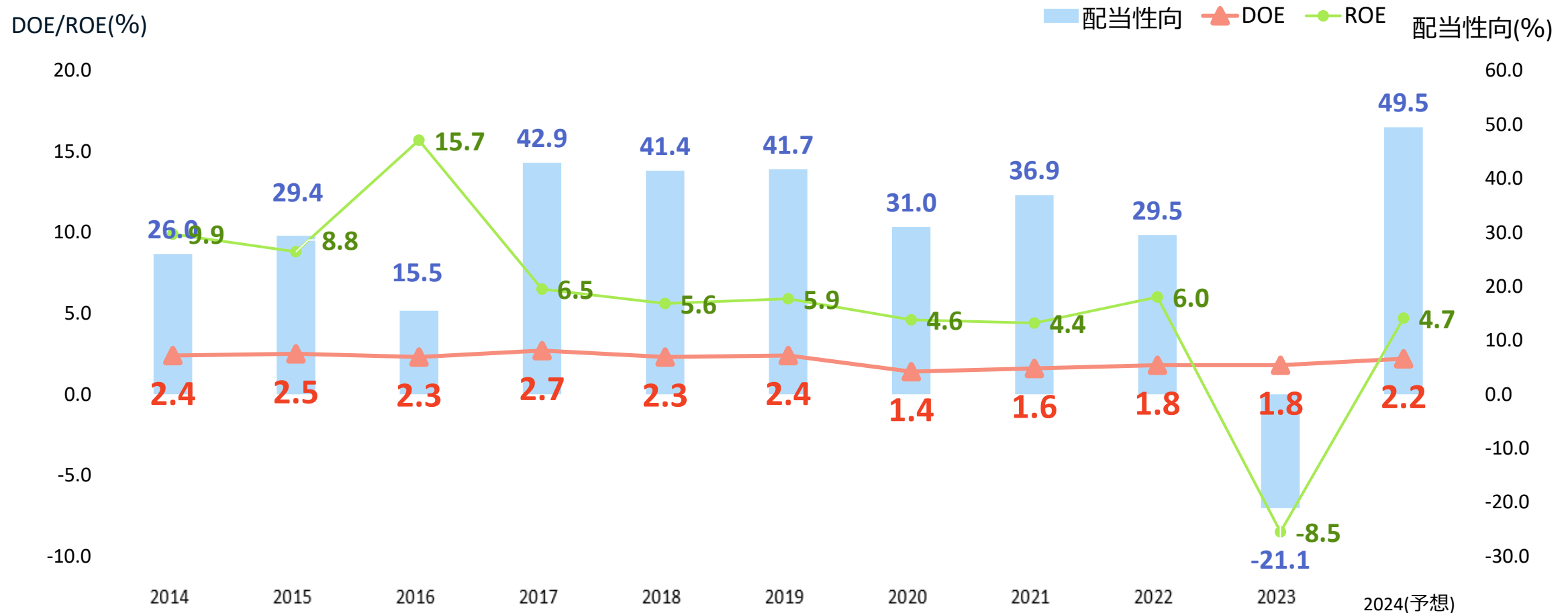
財務戦略の基本方針（将来的な収益・資本構造）

- 資本コストを上回るROE(8%以上)の早期実現を目指す。
- 資本収益性のさらなる向上を目指し、事業戦略を通じた営業利益目標をベースに自己資本の圧縮(自己資本比率50%程度)を進める。



財務戦略の基本方針（株主還元指標の追加）

株主還元の主要指標として、配当性向30%目標に加え、配当額の安定性を高めるため、DOE(自己資本配当率)にも留意し、中長期的に水準を引き上げていくことを目指す。



OX-2026の経営数値目標

連結業績・資本収益性

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度目標	2025年度計画	2026年度計画
売上高	76,854 百万円	78,152 百万円	70,000 百万円	72,500 百万円	75,500 百万円
営業利益	5,271 百万円	4,082 百万円	4,100 百万円	4,700 百万円	5,000 百万円
営業利益率	6.9 %	5.2 %	5.9 %	6.5 %	6.6 %
当期純利益	3,848 百万円	-5,472 百万円	2,800 百万円	3,120 百万円	3,320 百万円
ROE	6.0 %	-8.5 %	4.7 %	5.4 %	6.0 %

株主還元

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度目標	2025年度計画	2026年度計画
配当性向	29.5 %	—	49.5 %	検討中	
DOE	1.8 %	1.8 %	2.2 %	検討中	

国内建設関連製品事業

カスタマー・セントリック

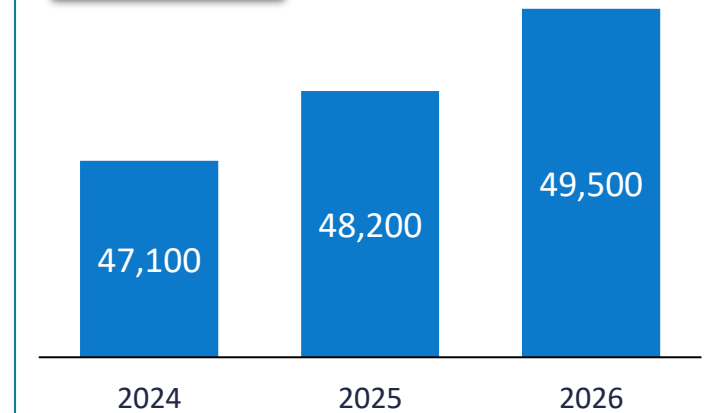
- ◆ 営業体制の刷新・強化、組織的なワンストップ営業の確立
- ◆ 顧客ニーズに的確に迅速に応える体制の再構築
- ◆ 顧客・社会の課題解決を最優先とした新製品・新サービスの提供

DXの更なる推進

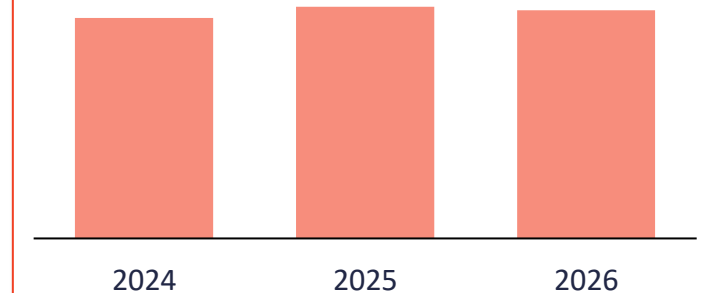
- ◆ DXの推進による、顧客への新たな付加価値の提供
- ◆ 業務プロセスの改善、生産性向上

売上高

(単位:百万円)



営業利益



海外建設関連製品事業

カスタマー・セントリック



アメリカ

- ◆ 顧客ニーズに迅速に応える物流・生産体制の強化
- ◆ 新商品・新サービスの提供



インドネシア

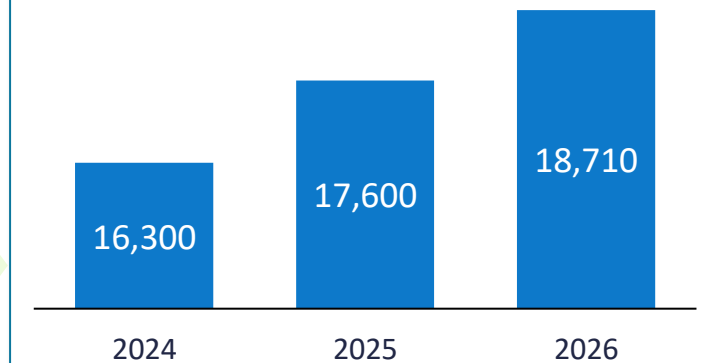
- ◆ 成長する顧客ニーズの的確な把握によるマーケティングの実施
- ◆ 新たに立ち上げた建材販売店舗“OKABE GALLERY”の事業基盤の構築と果断な事業展開

人的資本経営の実践

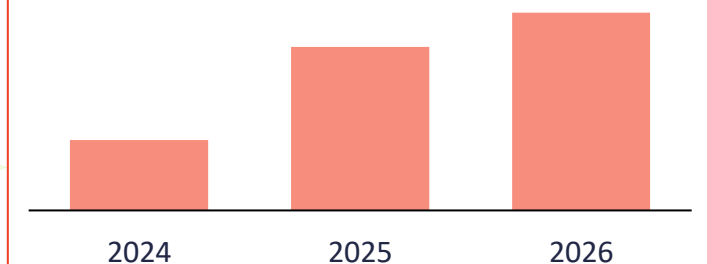
- ◆ 海外人財の育成・獲得、人財プールの形成

売上高

(単位:百万円)

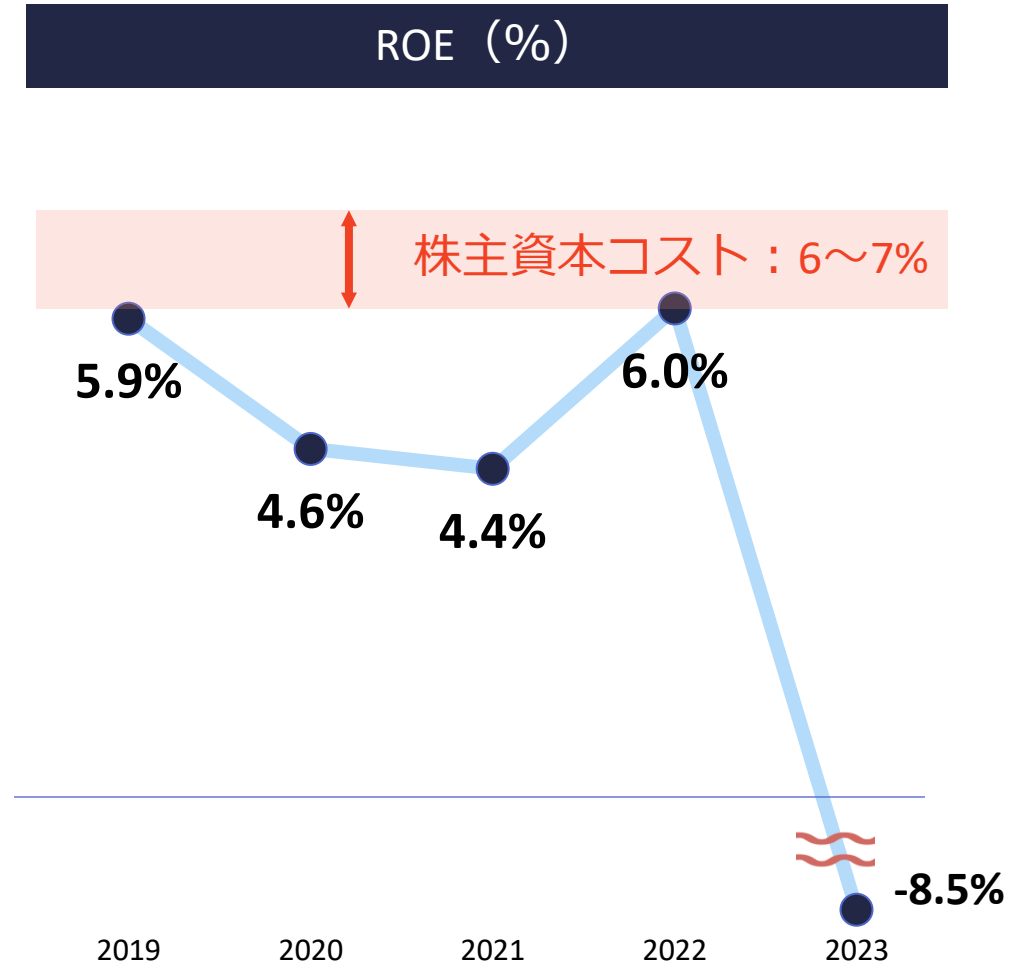
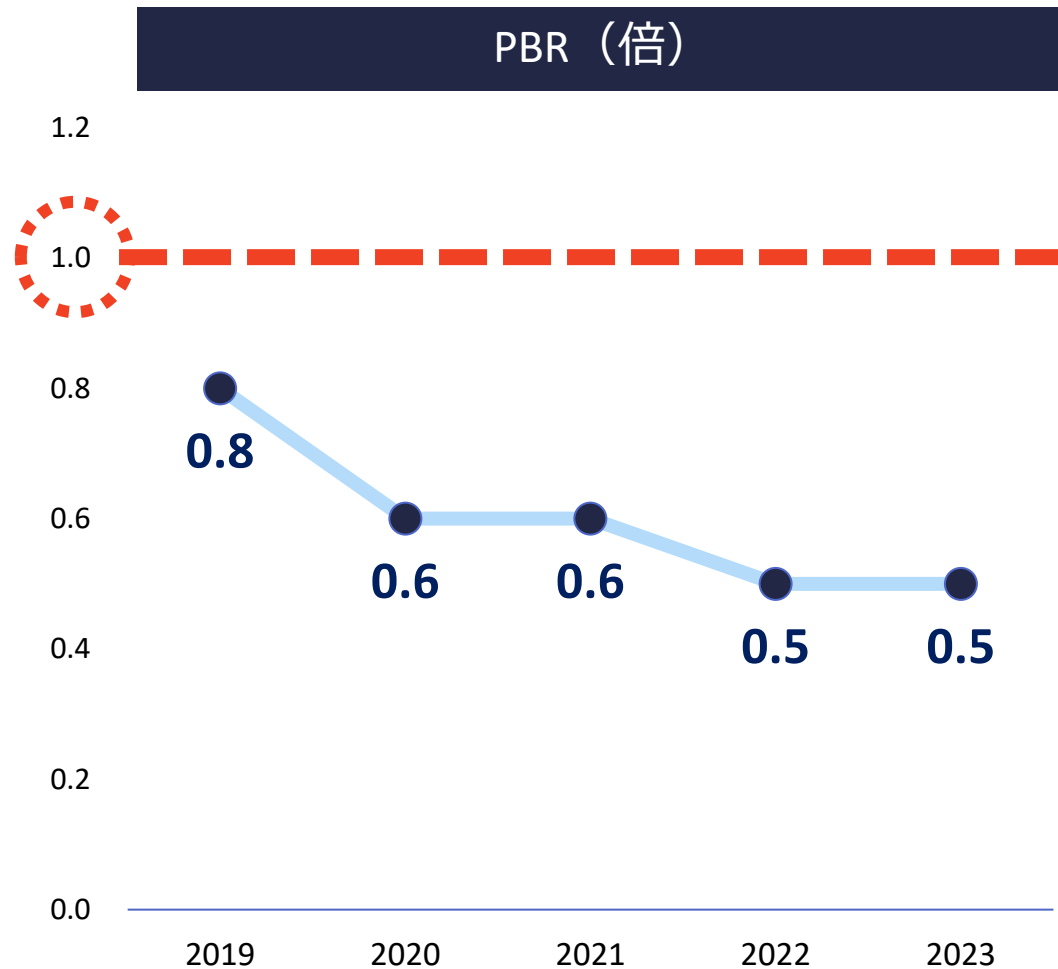


営業利益



現状分析

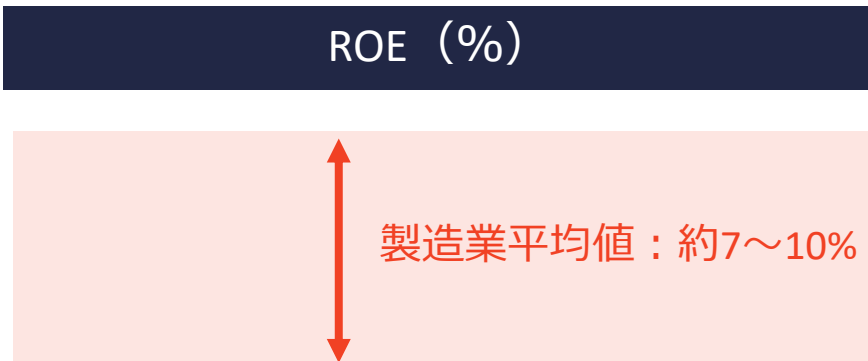
PBR1倍割れが継続、現在のROE水準は市場の求める株主資本コストの水準に達していない



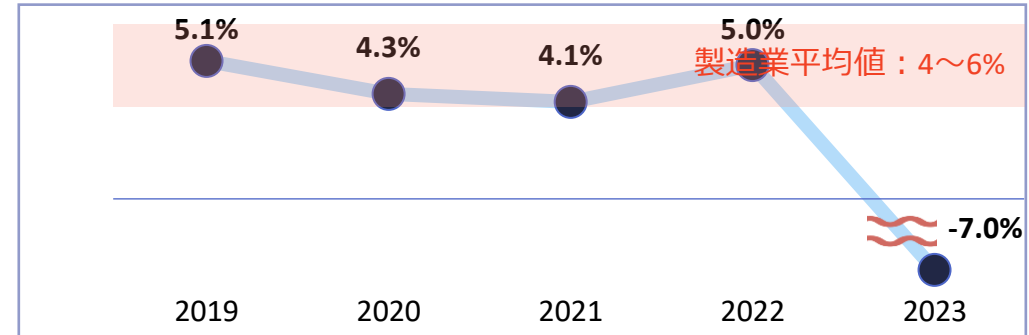
ROE低迷の要因分析（デュポン分析）

収益性の向上とバランスシートの効率化を通し、早期に株主資本コストを上回るROEの実現を目指す

対策優先度

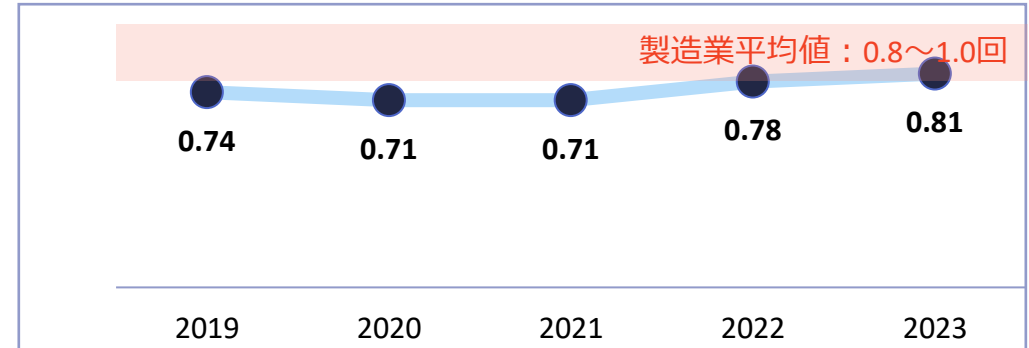


当期純利益率%



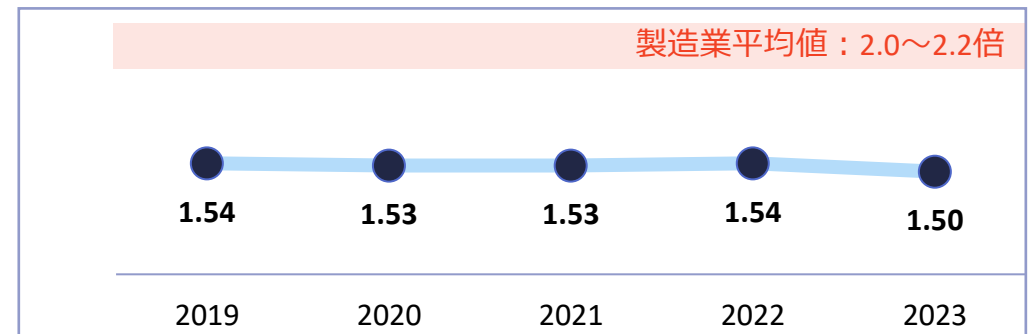
高

総資産回転率回



中

財務レバレッジ倍



高

PBR1倍超の達成に向けて

資本コスト経営/ 投資家との対話

- ROE8%以上目標
- 事業ポートフォリオ最適化
- 長期戦略の提示とESG関連情報の積極的な開示



成長戦略・投資

- 持続的な成長のための設備投資
- M&A
- R&D投資
- 人的資本投資

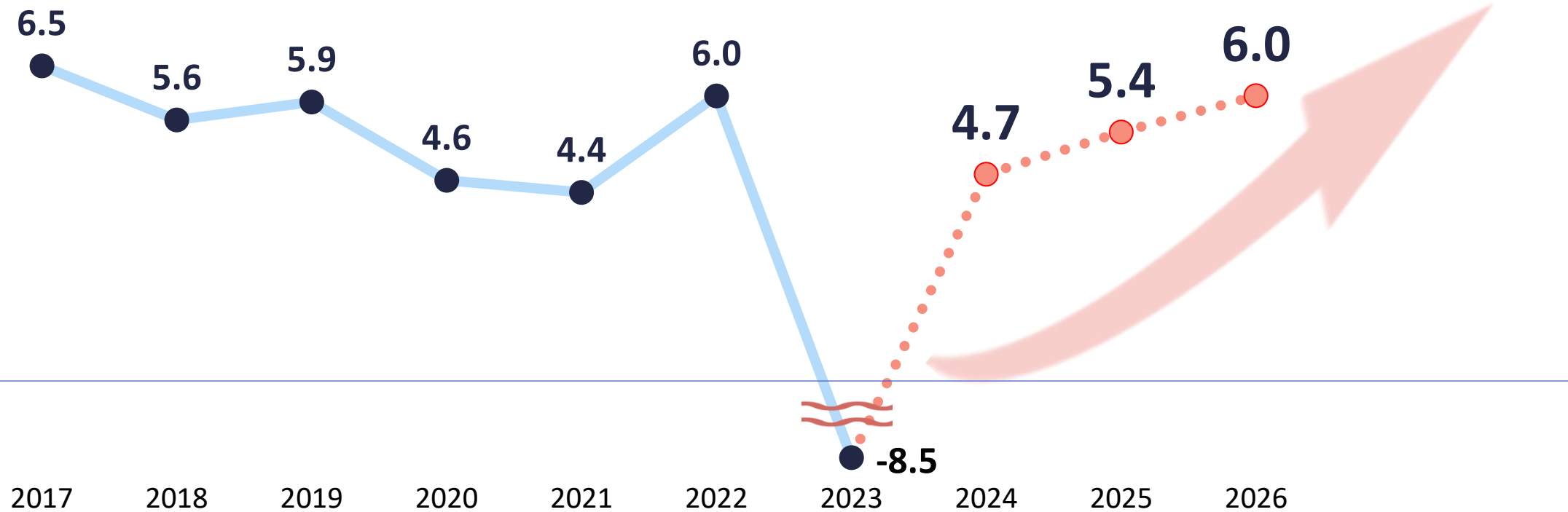
株主還元の充実

- 配当性向30%以上
- DOE指標の導入
- 自己株式取得

財務健全性

ROEの推移

OX-2026



投資計画

okabeコーポレートビジョン2040の実現を目指し、2024～2026年の間に戦略投資や人的資本投資のほか、DX関連・脱炭素対応を中心に3カ年で合計210億円の投資を実施する。

設備投資

約 **100** 億円

- ・ 生産設備の更新
- ・ 脱炭素投資
- ・ DX投資 等

戦略投資

M&A

約 **100** 億円

- ・ 国内・海外問わず、建設関連製品事業領域・サステナビリティ経営の推進に資する事業領域を中心にM&Aを実施

人的資本投資

約 **10** 億円

- ・ 人件費アップ
(年間5～7%)
- ・ 研修費用 等

3カ年合計投資額 **210** 億円

人的資本経営の実践

経営理念

安全・安心の提供を通じて社会に貢献する

okabe コーポレートビジョン 2040

これまでも、そしてこれからも
建設を支える耐震建材メーカーとして培った「**創造力**」×「**つなぐ力**」×「**人の力**」で
世界中の人々の生活に安全・安心を提供するグローバル・ソリューションプロバイダー



岡部グループで働く多様な人財＝新たな価値創造の源泉

人財確保

エンゲージメント向上

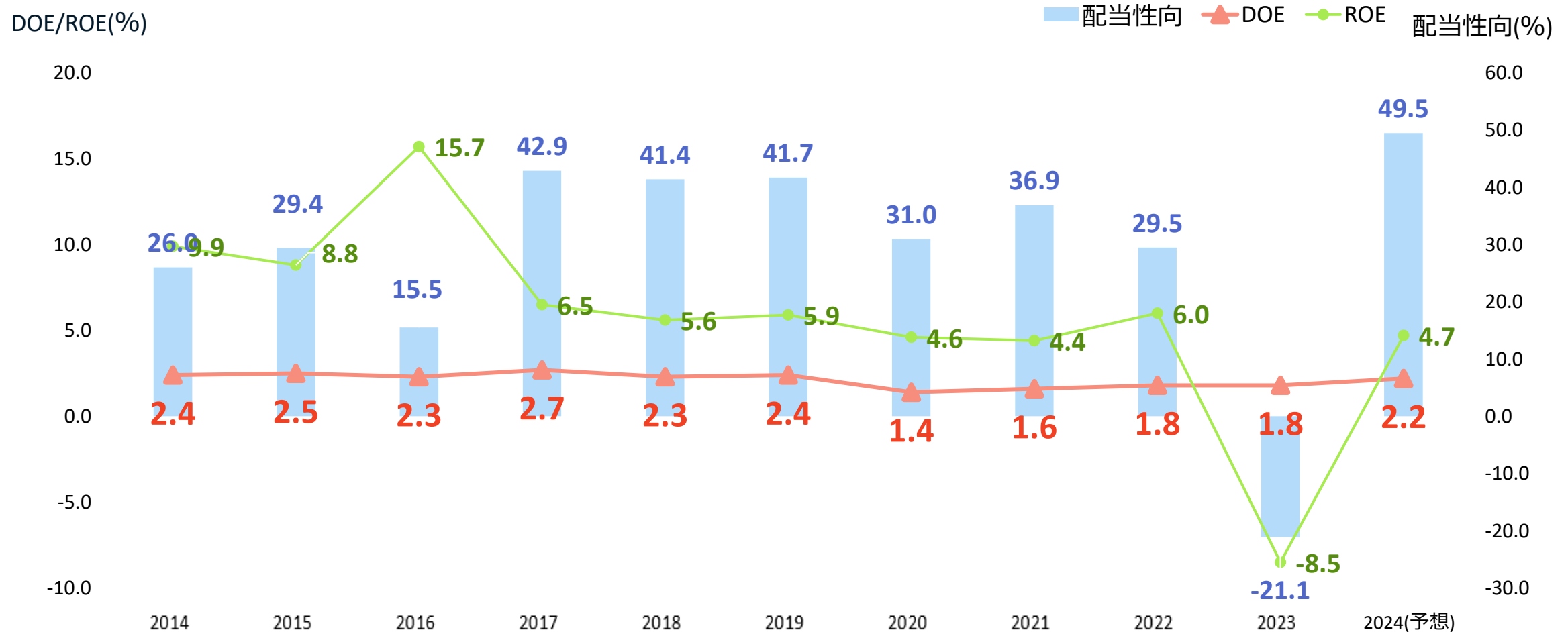
成長環境・
機会の提供

健康経営

人財への積極的な投資を通じて、企業価値を高めていく

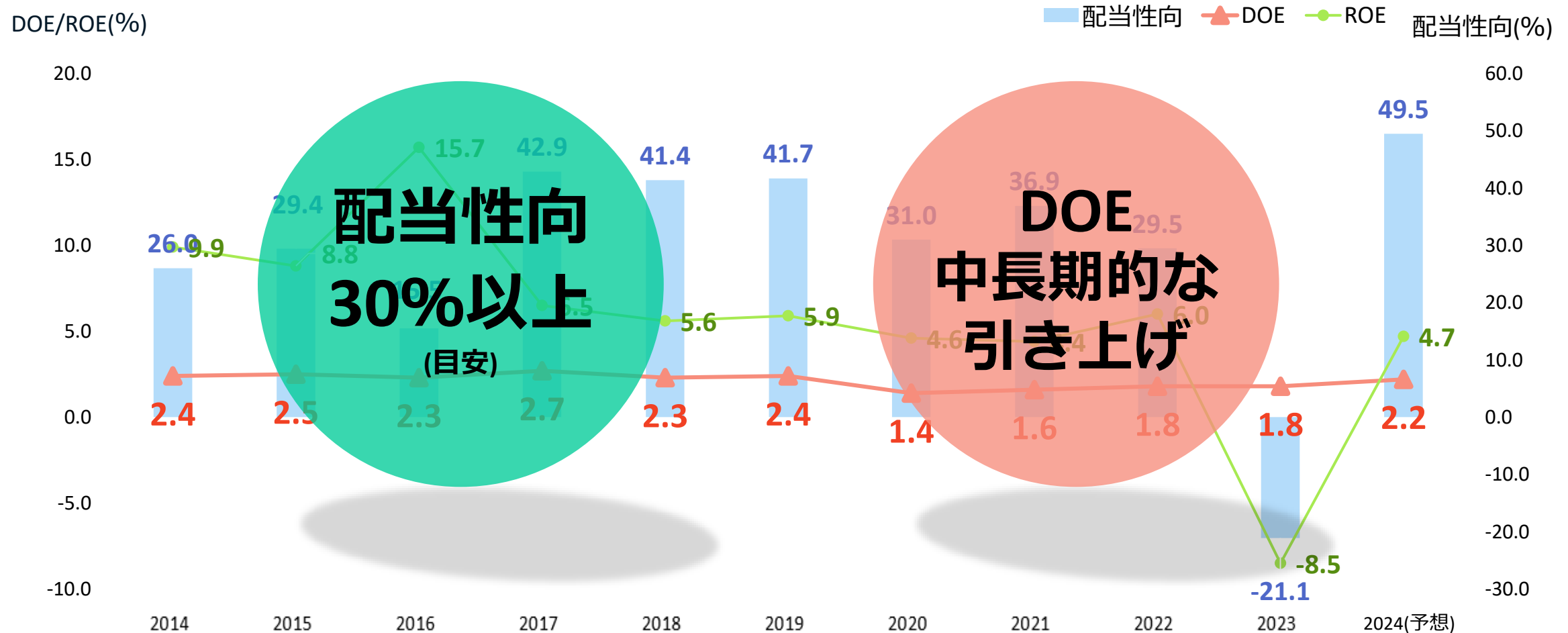
株主還元指標の追加

株主還元の主要指標として、配当性向30%目標に加え、配当額の安定性を高めるため、DOE(自己資本配当率)にも留意し、中長期的に水準を引き上げていくことを目指す。



株主還元指標の追加

株主還元の主要指標として、配当性向30%目標に加え、配当額の安定性を高めるため、DOE(自己資本配当率)にも留意し、中長期的に水準を引き上げていくことを目指す。





決算説明会

2023年12月期



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

参考資料

2024年度通期連結業績予想

(単位：百万円)	2023 通期実績	2024 通期予想	増減額	増減率
売上高	78,152	70,000	△8,152	△10.4%
営業利益	4,082	4,100	17	0.4%
(営業利益率)	5.2%	5.9%	—	—
経常利益	4,303	4,400	96	2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益(純損失)	△ 5,472	2,800	8,272	—

※主に自動車関連製品(バッテリー端子製品等)の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

2024年度通期セグメント別・製品別売上高予想

(単位：百万円)		2023 通期実績	2024 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	仮 設 ・ 型 枠 製 品	7,288	7,300	11	0.2%
	土 木 製 品	7,428	7,500	71	1.0%
	構 造 機 材 製 品	20,450	21,000	549	2.7%
	建 材 商 品	11,799	11,300	△499	△4.2%
	建 材 製 商 品 (海 外)	17,160	16,300	△860	△5.0%
	当事業計	64,128	63,400	△728	△1.1%
多 角 化 事 業		14,024	6,600	△7,424	△52.9%
合 計		78,152	70,000	△ 8,152	△10.4%

※1 主に自動車関連製品（バッテリー端子製品等）の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

※2 自動車関連製品事業の規模が縮小したことから、2024年度より、同事業を多角化事業に分類しております。

2024年度通期セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)	2023 通期実績	2024 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	4,066	3,530	△536	△13.2%
多角化事業	16	570	553	3,369.5%
合 計	4,082	4,100	17	0.4%

※1 主に自動車関連製品（バッテリー端子製品等）の製造販売に関連するウォーター・グレムリン・ホールディングス、Inc.、ウォーター・グレムリン・カンパニー及びウォーター・グレムリン・アクイラ・カンパニーS.p.A.を連結の範囲より除外しておりますが、2023年度においては、同3社の損益の状況が連結業績に含まれております。

※2 自動車関連製品事業の規模が縮小したことから、2024年度より、同事業を多角化事業に分類しております。

2024年度通期連結業績予想 (上期・下期)

(単位：百万円)	2024 上期予想	2024 下期予想	2024 通期予想
売上高	33,240	36,760	70,000
営業利益	1,820	2,280	4,100
経常利益	1,950	2,450	4,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,200	1,600	2,800

2024年度セグメント別・製品別売上高予想 (上期・下期)

(単位：百万円)		2024 上期予想	2024 下期予想	2024 通期予想
建設関連製品事業	仮 設 ・ 型 枠 製 品	3,563	3,737	7,300
	土 木 製 品	3,607	3,893	7,500
	構 造 機 材 製 品	10,235	10,765	21,000
	建 材 商 品	5,546	5,754	11,300
	建 材 製 商 品 (海 外)	7,466	8,834	16,300
	当事業計	30,417	32,983	63,400
多 角 化 事 業		2,823	3,777	6,600
合 計		33,240	36,760	70,000

2024年度セグメント別営業利益予想 (上期・下期)

(単位 : 百万円)	2024 上期予想	2024 下期予想	2024 通期予想
建設関連製品事業	1,651	1,879	3,530
多角化事業	169	401	570
合計	1,820	2,280	4,100

OX-2026 セグメント別業績目標

(単位：百万円)			2024年度目標	2025年度計画	2026年度計画
売上高			70,000	72,500	75,500
	建設関連製品事業		63,400	65,800	68,210
	国 内	- 仮設・型枠製品	7,300	7,500	7,600
		- 土木製品	7,500	7,800	8,000
		- 構造機材製品	21,000	21,500	22,300
		- 建材商品	11,300	11,400	11,600
		計	47,100	48,200	49,500
	海 外	- 建材製商品	16,300	17,600	18,710
		計	16,300	17,600	18,710
多角化事業		6,600	6,700	7,290	
営業利益			4,100	4,700	5,000
建設関連製品事業		3,530	4,080	4,240	
多角化事業		570	620	760	
営業利益率			5.9%	6.5%	6.6%
経常利益			4,400	4,800	5,100
当期純利益			2,800	3,120	3,320
ROE			4.7%	5.4%	6.0%

主なKPIの中期目標

マテリアリティ	主なKPI	単位	2023年度実績	2026年度目標	貢献するSDGsゴール
1 地震、豪雨等の災害の甚大化 2 建設事業の環境変化 3 人口減、高齢化社会	耐震等に貢献する製品（構造機材製品）の売上高	百万円	11,555	12,400	8 働きがいも経済成長も
	法面補強等に貢献する製品（土木製品）の売上高	百万円	3,390	3,600	
	新製品発売数	件	9	年間10	
4 人とのつながり・人的資本経営	共同研究する大学（学識者）の数	校	契約関係 5 協力関係 6	10	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	女性管理職比率	%	4.7	10	
	育児休暇取得従業員比率	%	41.7	100	11 住み続けられるまちづくりを
	障がいのある従業員数	名	11	16	
	IT関連保有資格数	個	95	600	
	社会・地域貢献活動への投資額	百万円	26	26	
5 気候変動、地球温暖化 6 環境保全、脱炭素、資源循環の実現 7 海洋資源の維持	CO ₂ 排出量（Scope1+2）合計	t-CO ₂ e	集計中	前年比-9.5%以上	12 つくる責任 つかう責任
	CO ₂ 排出量（Scope3）合計	t-CO ₂ e	集計中	前年比-4.0%以上	
	CO ₂ 吸収固定に貢献する海藻種苗の出荷数	本	185	2,000	14 海の豊かさを守ろう
	総廃棄物リサイクル量	トン	2,749	3,396 (前年比+5%)	
	使用済みPコンのリサイクル数量	万个	97	300	
8 ガバナンスの強化	社外取締役比率	%	41.7	1/3以上	16 平和と公正をすべての人に
	女性取締役比率	%	8.3	16.7	
	監査等委員会の社外取締役比率	%	75.0	過半数以上	

※KPIの詳細につきましては、財務・非財務データ集として当社ウェブサイトのサステナビリティページに掲載しております。

<https://www.okabe.co.jp/sustainability/>